

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	サベージ・ハイブリッド	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.490	△RG	0.051	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：サベージ・ハイブリッド

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

MB 4in1/2

比較対照ボール：リット・パール

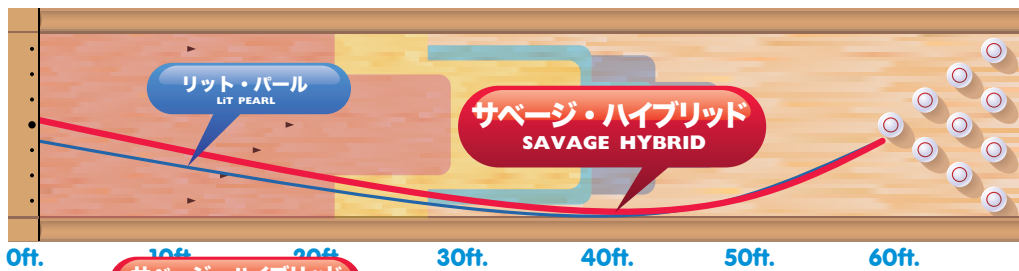
フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ

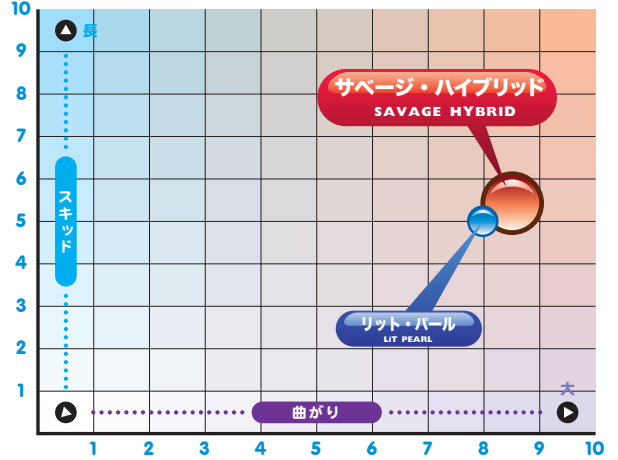
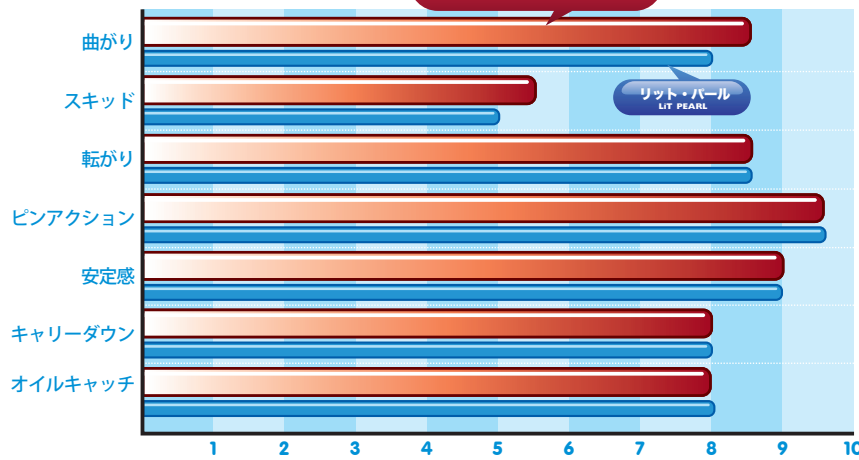
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

番

MB 4in1/2



ヘビー
 ミディアム
 ライト
 バフ



ボールの評価

ABSボール開発チームが今一番注目し、お互い意見を出し合い共同開発を進めているのがCOLUMBIA社とTRACK社です。特に注目して頂きたいのはHybrid素材とPearl素材で、Solid素材中心だったのミディアムヘビーから上の領域が、ケミカル配合の進化でオイルのキャッチと特にドライエリアでのグリップ力が急激に増加したこと。それによりHybridやPearlでも今までとは比較にならないぐらいバックエンドのリアクションが出るようになりました。

今回リリースするSAVAGE HYBRIDは米国では初めにSolidカバーストックでの発売ですが、日本ではあえてHybrid素材を先行することを決め、International製品として発売致します。あえてHybrid素材を選んだ理由は、EBI(EBONITE International)とABSボール開発チーム間で共同開発のHybridとPearlが他社のリアクティブ素材と肩を並べるほど良質に仕上がってきていることが最大の理由です。また日本のユーザーがSolid素材にみられる手前からの強いキャッチ力とMidから緩やかに動く性能よりも、走って奥で俊敏に動くボールを求める傾向を考慮し日米共同開発のHybridをSAVAGEの第一弾としてリリース致します。

私は開発の段階から詳細を伏せリーグ中にテストングを行います。見ている方は「かなり先で動きますね」とか「キレルボールですか?」という感想を多く聞きました。銘柄を伏せ先入観を外せば他のブランドのボールをテストしていると見えないぐらいSAVAGE HYBRIDは奥での動きが出ているという事でしょう。それにコロンビア社独自のHyper Shock Technology搭載のボールですので、ピンヒットの瞬間のアクションは一級品です。私達がなぜ本家のコロンビア社がSolid素材のSAVAGEを発売する中、あえてHybrid素材のSAVAGEなのか。それは契約プロの実際の投球を見てからでも遅くはありません。まずは是非その目で性能をお確かめください。

特記事項

COLUMBIA社の進化したHybrid素材は他社に引けを取らないバックエンドリアクションが売りの逸品。オイルに負けない走りの中に俊敏なバックエンドリアクションをその手でお試ください。